

# 御挨拶

三 森 神父

皆様、クリスマスおめでとうございます。

今日、クリスマスは我が日本に於ても大変一般化されて参りました。それは喜ばしいことで

天は喜ばん、地は主の御顔の前にて雀躍せん、そは主より給えはなり。

(詩九五の一ーと一三)

ありますが反面にはまことに歎かわしいこともあります。人

炎の救いを見た喜び、心の暗闇から救い出された喜び、神聖なる平和の喜び天主の無限の愛をべトレヘルムの聖なる嬰兒の中に見出しました。私共はこの聖なる喜びを

感謝もなけれは聖なるほどは零程もありません。乾いた心をうろおし、傷める心を癒すために天下り给了た溌みの御子が私共を憐み给了たように彼らの憐んで下さるよう祈りましょう。

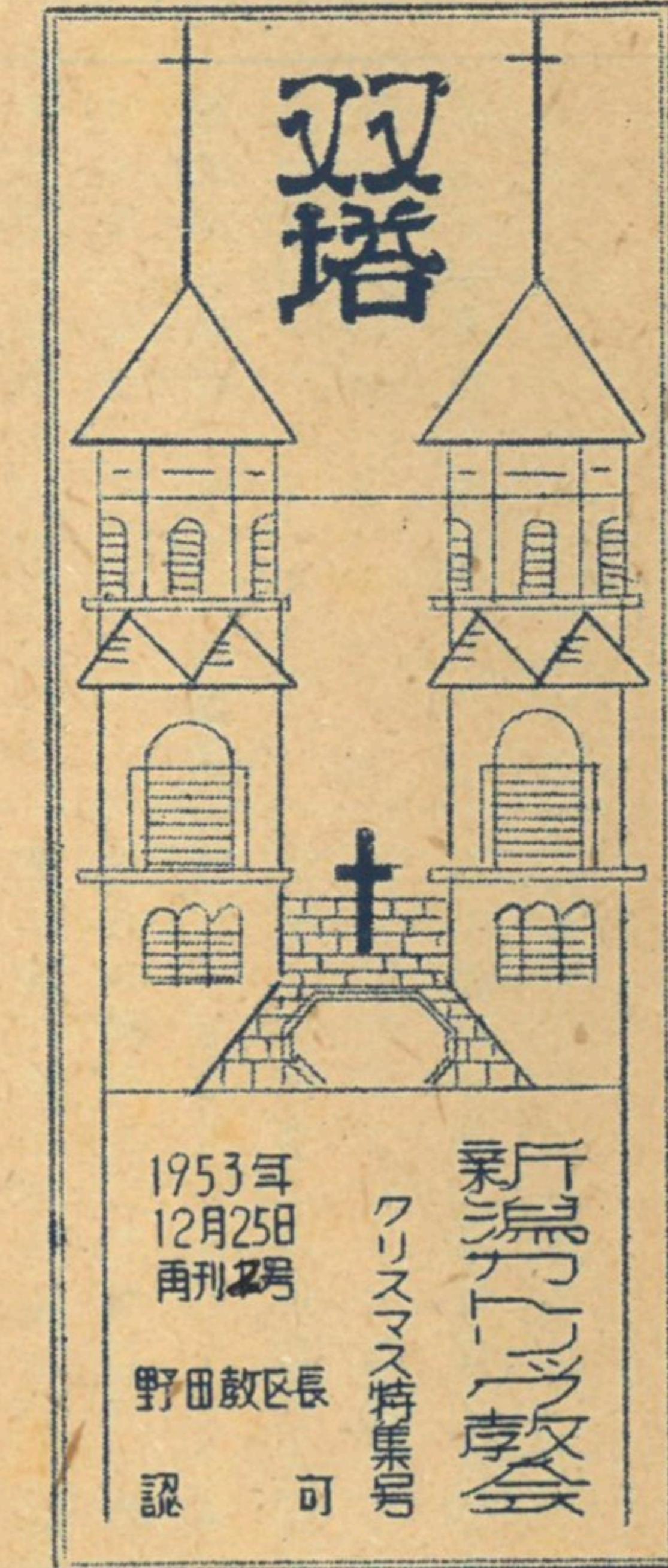
そこには天主様に対する愛も

さの中に外部にも表さずにはおられません。クリスマスは天主の幼な児を囲み童心に帰つた実際に和やかな家庭的しかも清らかなお祝いあります。私共キリスト信者は、この祝いの中に深く天主の御慈悲を感じこの労苦の多い世にありながらも生きる力の泉を見い出すのであります。

私共の精神はこの聖なる嬰兒の中に新たにこれを迎える新しい年の希望と熱愛に燃え立たせられるのであります。これはまたに聖なる救いのクリスマスであります。

しかし、塵のないクリスマスキリストを知らぬ人々のクリスマスは、しづく修道場と化してしまいます。聖なる嬰兒をお慰めするどころか却つて罪を重ねてその十字架を重くし、お粗末な馬槽の臥し床を一層寒からしめます。

お恵みを御母マリアのおとりなしによつて幼きイエスに祈りましよう。



# 御降誕節

の祝日

十二月二十五日(金)

御降誕祭(ハヤタゲア)

十二月二十八日(月)

罪なき聖嬰兒等殉教者へ併せて幼子イエズスのエジプト避難を思う)

一月一日(金)

我が主イエズス、キリストの御割礼

一月四日(月)

イエズスの聖名の祝日

一月六日(水)

我が主の御公現、三五の来祥

キリストの受洗を記念す(ハ

日間祝)家庭の祝別を行う。

一月十日(日)

聖家族の祝日、キリスト故家

聖母の御潔めの祝日

幼子イエズス生れて四十日目

に聖殿に獻りられる。ヨーソフへ世の光なるキリストの象徴の祝別式及びヨーソク行列

## 双塔クリスマス号

## メッセージ

野田時助

更生した「双塔」の初のクリスマス号を迎えることは何と

も芽出度い至りであります。双塔が「隻」塔になつたら、など

という冗談は厳禁ものです。モニスマムへ「元論」は、唯物論や

基督教の受洗を記念す(ハ

日間祝)家庭の祝別を行う。

一月十日(日)

聖家族の祝日、キリスト故家

聖母の御潔めの祝日

幼子イエズス生れて四十日目

マスにあたり、双塔に贈る祝詞としてこれに過ぎぬものはない

と考えます。人生の行路はまず人間の構成によつて定まります

が、人は靈と肉との二つから成ります。人の終極目的は超自然

界に高揚されましたけれども、それに至る道である忍辱は自然

を破壊せず、といわれます通り、

キリスト信者の徳である注職的・超自然徳と人間の獲得すべき

・習得的・自然徳とが両者揃つて

始めて、われくの目的への能

力(完徳)は望まれるのであり

ます。神と人との仲介者は唯お

ひとりキリストでありますとは

いえ(チモテオ前二ノ五一六)

キリストの一切の功德の分配者

としていまひとりの仲介者の送

はれることが賢旨であります

(ヨハネ・ヨハネ・ヨハネヨハ)。この

仲介者は、無原罪の特典をもつ

て母胎内に宿りへ一八五四年十

月八日(ピオ九世定義)すでに

肉身と靈魂により天上の榮光

にあげられたもうた聖母マリア

であります(一九五〇年十一月一日ピオ十二世定義)。この意

味におきまして「マリアから、

イエズスへは、私共の靈的生

活において、どれを欠いても聖

旨に適うことができない兩つの

門であります。以上のほかにも

これらに準じて、二つ揃えなけ

ればならない大切なものは數多

くあります。一例をあげれば、

聖パウロは「そは心には信じて

義とせられ、口には宣言して救

靈を得べければなり」(ロマ一〇ノ一一)と教えますが、布放

の必要が反省させられるではあ

りませんか。双塔の謙者の皆様

これらを、特に日々の默想の中

に発見せられて、日常生活の聖

化と充実とに資せられますよう

切に念願いたします。

# クリスマス・プロクラム

## クリスマス

### (Christmas) の五口

御降誕の大祝日にに対する英語の普通名詞でキリストのミサの意、中世では祝日として非常に人気を博するに至った。大抵はお祭り気分の多くの習慣や信仰がこの祝日を中心に生じたがその多くは宗教改革以後にも残存し例えば一六四四年莫国清教徒の会議はこの祝日を廃しつに代えるに全国市場日を設けたが、

廿四日

午后六時 待降節九日間の最後の祈り

「六時半—十一時まで

クリスマス前夜の集い、各グループからの演し物による芸能会

廿五日

午前の時、真夜中のミサ、教区長様司式歌ミサ、つづいて感謝の祈り

午前六時 六時半 九時 ミサ  
午後六時 聖体降福式ヘタ方の御ミサはありません

それにも断食が付されていた。ヘカトリツク大辞典ノカトリツク教会はクリスマスの無信仰な俗化した風習を嫌いむしろ「御降誕の語をより好んで使つてゐる。

敵父聖ヨハニ  
ウリゾストム  
の説教 (三八六年)

「降誕祭は祝日として他のあらゆる祝日より以上に尊び且つ祝われるべきである。それがあらゆる祝日の中へしても誤つて

「降誕祭は祝日として他のあらゆる祝日より以上に尊び且つ祝われるべきである。それがあらゆる祝日の中へしても誤つて

「降誕祭は祝日として他のあらゆる祝日より以上に尊び且つ祝われるべきである。それがあらゆる祝日の中へしても誤つて

予言者が予言をし、義人が見んと欲したところのものが、今日この日に成就したのである。天主は地上に肉となりて現われ、人々の中に宿り給ひり、至愛なる者よ、我等はそれを疣び且つ歎呼せん、——もし太陽が一度且つそこより輝やきを發する二

び地上に降り来り、地上を動き

とありとせば、如何に驚異すべしものなるかを思え、今や既に

はいない。何となればそれは、御公現、御復活、聖靈降臨及び御昇天の諸祝日の根源かつ基礎であるからである。キリストが

肉体をうけて生れ給わざりせば御公現の祝日に祝われる我が主の受洗も行われなかつたであろう。それ故この祝日からその他のルのは、恰も泉から流れ出る如く發生したのである。しかるが故に余はこの日を愛し、諸子も亦その愛を受けられるようにならゆる。それがあらゆる祝日の中へしても誤つて

「太祖達が最も熱心に期待し予言者も亦その愛を受けられるようにならゆる。」

彼は汝等をこのままで全く、貴人事を期待すべきである。

「讀せられるであろう。何となれば、この日に対する愛は、今日生れたまいし者に対する愛のものとむいちどるしい微であるから。」

被造物の上にこのことが起り、眺める全てのものが全く驚がくせざるを得ずとすれば、正義の太陽（キリスト）を見る事が如何なる奇蹟であり、如何にそれが我等と等しき肉体よりその精神的光を発し且つ我等の靈魂を照し給うものなるかを熟慮せられよ。

## ■ クリスマス・ツリー

(Christmas Tree)

南ドイツでは、この降誕祭の木を「パラダイス」へ樂園」と呼んでいる。大聖堂の前庭又は聖堂の中で行われた中世の樂園劇に由来する。クリスマス・ツリーと生命の木へ創一ノ丸」との関連はこれによつても明らかである。それは又、キリストのかけられた十字架の、木とも関連させている。

ツリーにさげる白いまるいものは、キリストの御体、御ん聖体を意味するという。此の木にローソクをともすのは特に聖堂を離れている信者たちが御降誕を祝う聖堂を懇んで信心を起したのであつた。

## ■ サンタ・クロース

(Santa Claus)

そもそもの起りは、ミラの聖

人ニコラウスヒ云う大変痛苦い司教へ五六四年没しに始る。聖人が三人の婚期の娘を耻辱から救つたと云う伝は広く知られている。後世に及んで、この聖人は

は広く宗教され、学生や子供の保護者と仰がれるようになつた。所謂サンタクロースの慣習は

聖人の祝日に行われていた学生司教劇に始まる。聖人はその祝日の前夜、訪ねて来て贈り物をあいていくとされた。

宗教改革後サンタクロースは幼きイエズスは元々聖ニコラウスのお伴をしていた確いおじさんは、キリストの御体、御ん聖人に代り、ニコラウス慣習は更に変じて御降誕祭の慣習となつた。

## クリスマス讃歌

## マリアの子守唄

おこな子よ！おこな子よ！

み母の胸に横よせて

まどらかに眠ります

おこな子よ！とく熟睡しませ

み空なる星とだわむれ、

遊びますか、夢にほゝえむ

おこな子！おこな子よ！

聖らなる馬ぶねかこみ

み使いよ天くだり来て

守りませ、君が安睡を！

## マリアの子守唄

おこな子よ！おこな子よ！

み母の胸に横よせて

まどらかに眠ります

おこな子よ！とく熟睡しませ

み空なる星とだわむれ、

遊びますか、夢にほゝえむ

おこな子！おこな子よ！

聖らなる馬ぶねかこみ

み使いよ天くだり来て

守りませ、君が安睡を！

今そ

光榮に平安は充ち満てり

間の私の名前は、アヴァイオレット  
トマインエムイズヴァイオレット  
ト、それを何十回もいわされて  
泣きそうになつたことも忘れて  
いた。父が鉄道の仕事に關係があつた  
ので、毎年招かれていました。そ  
のとき玄関でわたされた袋のす  
ばらしく大きいこと。又その中  
には全く色々の食べものがどつ  
さり入つていつづく出して  
見る樂しさ、チヨコレート、キ  
マラメル、あすし、かきもち、  
パン、みかん、おやくだあれ  
? よだれをたらしているのは  
伯父につれられていつた、ア  
メリカ人、A氏のお家のクリス  
マスは、その庭の広い芝生の上  
に、おしゃるこや、おすしや、お  
でんの屋台店ができました。  
アメリカ人や、日本の人々が、美  
しき着かざつて、しかも立つて美  
御ち走を食べている風景は、子  
供の私には珍らしく、又、たの  
しいものでした。

クリスマスは、クリスマス  
といつただけでみんなはもうに  
こしますね。クリスマスは  
うれしいですね。私も小さい時  
クリスマスは本当にうれしかつ  
たの、でも、それはイエズス様  
がお生れになつた日だからでは  
なく、いろんなうれしい事が  
他にあつたからです。正直に云  
うと、イエズス様つてどんな  
方が大人まりよく知らなかつた  
んです。それに私の家はカトリ  
ックであります。



◎

クリスマスの思い出

ツクでありませんでしたから。  
小学校の一年生の時、黒いビ  
ロードの服を着て、後で結んだ  
ベルトをびよこくさせながら  
「メリ」、メリ、クリスマス  
つて踊つたのをおぼえています  
よ。いつもお花のついで、つば  
の広いお帽子をかむつたミセス  
キルビーが、その日ばかりはた  
こにこして、あごで調子をとり  
ながら一着た噴つて下さつたの

もおぼえていますよ。英語の時  
間の私の名前は、アヴァイオレット  
トマインエムイズヴァイオレット  
ト、それを何十回もいわされて  
泣きそうになつたことも忘れて  
いた。父が鉄道の仕事に關係があつた  
ので、毎年招かれていました。そ  
のとき玄関でわたされた袋のす  
ばらしく大きいこと。又その中  
には全く色々の食べものがどつ  
さり入つていつづく出して  
見る樂しさ、チヨコレート、キ  
マラメル、あすし、かきもち、  
パン、みかん、おやくだあれ  
? よだれをたらしているのは  
伯父につれられていつた、ア  
メリカ人、A氏のお家のクリス  
マスは、その庭の広い芝生の上  
に、おしゃるこや、おすしや、お  
でんの屋台店ができました。  
アメリカ人や、日本の人々が、美  
しき着かざつて、しかも立つて美  
御ち走を食べている風景は、子  
供の私には珍らしく、又、たの  
しいものでした。

スマスでみたところよりのお  
話の中には、ある木テルのクリ  
スマスから、麻國木テルのクリ  
スマスでみたところよりの  
いふべきさんへ残るようになります。

トマインエムイズヴァイオレット  
ト、それを何十回もいわされて  
泣きそうになつたことも忘れて  
いた。父が鉄道の仕事に關係があつた  
ので、毎年招かれていました。そ  
のとき玄関でわたされた袋のす  
ばらしく大きいこと。又その中  
には全く色々の食べものがどつ  
さり入つていつづく出して  
見る樂しさ、チヨコレート、キ  
マラメル、あすし、かきもち、  
パン、みかん、おやくだあれ  
? よだれをたらしているのは  
伯父につれられていつた、ア  
メリカ人、A氏のお家のクリス  
マスは、その庭の広い芝生の上  
に、おしゃるこや、おすしや、お  
でんの屋台店ができました。  
アメリカ人や、日本の人々が、美  
しき着かざつて、しかも立つて美  
御ち走を食べている風景は、子  
供の私には珍らしく、又、たの  
しいものでした。

スマスでみたところよりの  
話の中には、ある木テルのクリ  
スマスから、麻國木テルのクリ  
スマスでみたところよりの  
いふべきさんへ残るようになります。

入つていて悲しかつたことも、  
忘れられません。

おやつ誰かが食いしんぼうの

先生！ ですつて？ ほんとうに

私の思い出すクリスマスは、お

てんはで食いしんぼうのクリス

マスばかりね、その頃ひとりつ

子で皆からかわいがられ幸せの

## お知らせ

○英礼の勉強 每日午後七時より、  
待降節オ一主日より教会の新らしい暦が始まりました。その暦に従つて講義があります。多数御参加下さい。

○新一代  
まだお納めにならない方はなるべく全月中にお詔め下さい。

○公教要理の研究会  
新年からの研究会は一月十九日から再開いたします。

御降誕祭後と

一月の主日・主な祝日

十二月二十五日 金 十  
吾が主イエズス・キリストの御降誕の大祝日、

|   |   |
|---|---|
| 十二月二十六日 土<br>聖ステファノの祝日<br>ク二十七日 日 十<br>候徒福音史家聖ヨハネの祝日<br>リ二十八日 月<br>罪なき聖嬰兒等殉教者 | 一九五四年<br>一月一日 金<br>初金 我が主イエズス・キリスト御創礼の祝日<br>ク二日 土<br>初土<br>ク三日 日 十<br>六日 水<br>我が主御公現の祝日<br>十日 日 十<br>聖家族の祝日・御公現後オ一の主日<br>十七日 日 十<br>御公現後オニの主日<br>二十四日 日 十<br>御公現後オ三の主日<br>十七日 (月)<br>教会委員会<br>十一日 (月)<br>婦人部委員会 |
|---|---|

## 各会の動きについて

○ヨゼフ会  
十一月十五日  
例会を開き委員は当番制とすることに決定、現在当番は兩氏としました。

○婦人部  
十一月二十二日  
発会式を行い委員七名を推薦により決定しました。

委員氏名

|  |
|--|
| 一月三十一日 日 十<br>御公現後オ四の主日<br>二月二日 火<br>童貞聖マリア御運めの祝日<br>リ五日 金<br>初金、日本二十大聖殉教者の祝日<br>六日 土<br>初土<br>七日 日<br>御公現後オ五の主日<br>六日 土<br>初土<br>七日 日<br>御公現後オ五の主日<br>八日 土<br>初土<br>九日 日<br>十日 土<br>十一日 (月)<br>教会委員会<br>十二日 (月)<br>婦人部委員会<br>十三日 (月)<br>ヨゼフ会例会<br>十八日 (月)<br>青年部委員会<br>二十四日 (日) |
|--|

(二地区) ら売捌きと当日のお台所の方へ御協力をお願ひ致します。  
 (十二地区) ス、色々の御希望、御意見を委員まで御申出下さい。

(三地区) ○青年部  
 (三地区) 十一月八日  
 (三地区) 発会式を行い委員を推薦送呈  
 (三地区) の結果左記の男女各五名づゝに  
 決定しました。  
 男子委員

(十一地区) 今後の例会のあり方、クリスマスの準備について相談しました。  
 始めての委員会が招集され、  
 今後の例会のあり方、クリスマスの準備について協議しました。

決定事項

1. 今月(十二月)は二十七  
 日で暮も押迫り各お忙しい  
 ことと思われますので聖堂  
 に於ける特別な婦人の歌の  
 祈、聖歌のみに止めること

2. クリスマスには婦人部と  
 してコーラスその他の催し  
 物に参加し、日曜日九時の  
 ミサ後信者公館で練習する  
 こと。

クリスマスの夜の食堂の  
 ときは食券を用意しましたか

女子委員

(十七地区) ○この日から夕の祈りは六時四十分始まり。

(三十三地区) ○青年部  
 (三十三地区) 十一月十六日  
 (三十三地区) 委員会を招集しクリスマスの準備について相談しました。  
 (三十三地区) 十二月十三日  
 (三十三地区) 例会を幼稚園で開きクリスマス前夜の集いや準備について、  
 具体的相談をしました。

(十一地区) 今月(十二月)は二十七  
 日で暮も押迫り各お忙しい  
 ことと思われますので聖堂  
 に於ける特別な婦人の歌の  
 祈、聖歌のみに止めること

(十一地区) ○ミサは五時半・六時(歌ミサ)  
 ○タ七時より教会委員会  
 三日(火)  
 ○午後五時半新しい公教要理の  
 時間が始まりました。

五日(木)

(十一地区) ○病人の堅振の靈敷区長様、三  
 森神父さまが各病院自宅を廻  
 られました。  
 ○聖時間は午後八時より九時ま  
 で

(十三地区) ○聖ヴィンセント・ア・ポ  
 リ  
 ○九時のミサ後子供侍者の集  
 い

(十地区) ○聖ヴィンセント・ア・ポ  
 リ  
 ○教区長様は母君御危篤の報に  
 郡里北海道へ旅立れました。  
 七日(土) 初土  
 司祭召出しの歌の信心

(十地区) ○聖ヴィンセント・ア・ポ  
 リ  
 ○九時のミサ後子供侍者の集  
 い

(十地区) ○聖ヴィンセント・ア・ポ  
 リ  
 ○九時のミサ後子供侍者の集  
 い

(十地区) ○聖ヴィンセント・ア・ポ  
 リ  
 ○九時のミサ後子供侍者の集  
 い

八日～日

- 九時ミサ後、青年部発会式
- 午後三時 墓参、墓地に於て  
高橋神父様により教導式が行  
われました。
- 午前三時教区長様御母堂御死  
去の報がありました。
- 午前三時教区長様御母堂御死  
十五日～金
- 九時ミサ後、ヨゼフ会例会  
十六日～月
- 夜七時より青年部委員会  
二十二日～日
- 九時より、教区長様によつて  
御母堂追悼ミサがあげられま  
した。
- 九時のミサ後、婦人部発会式  
アの祝日なので、聖歌隊は、  
夕七時より祝賀茶話会を催し  
ました。
- 三十日～月
- 夜七時より、婦人部委員会
- 故会委員会、夜七時より

◎十二月

- ニ日～水
- 夜七時より青年部女工委員会  
三日～木
- 聖時間 每月の通り
- 四日～金 初金
- 五日～土 初土
- 六日～日 圣フランシスコ、ザベリオの  
公式、九時ミサー子供等  
者の歌隊による。—
- 邦人司祭養成会、この日の  
ミサ献金は邦人司祭養成の目  
的のために本部に献げられま  
した。
- 聖ニコラオ祝日で土曜学校生  
徒はヴィアンヌ館の教室で  
神父様よりお菓子の贈り物を  
頂きました。
- 少年少女の日
- 七日～月
- 故会委員会、夜七時より

十三日～日

- 青年部例会、九時ミサ後幼稚  
園に於て
- 十六日～水
- 毎夕六時半より待降節九日間  
の祈りが始まりました。
- 二十七日～日
- ヨゼフ会例会、九時ミサ後  
ス会が午前十時半より午後三  
時まで幼稚園に於いて行われ  
ました。
- 二十一日～月
- 青年部委員会、夜七時より  
二十三日～水
- 家庭婦人のための研究会の主  
催で午後二時半より信者会館  
でクリスマス祝賀茶話会を催  
しました。
- 聖ニコラオ祝日で土曜学校生  
徒はヴィアンヌ館の教室で  
神父様よりお菓子の贈り物を  
頂きました。
- 受洗 十一月十二日
- 結婚 十一月十四日

# ホ日出度

非心報

マルタ  
ヨゼフ  
十二月十二日

去る十一月十三日(金)午前三時  
教区長御母堂、マリア零田  
様は七十九才の御高令を以て  
北海道トラピスト学院内に於て  
永眠なさいました。こゝに謹んで  
お知らせ申し上げます。御危  
篤の電報により急遽御帰郷なさ  
った教区長様のお手より最後の  
御聖体をうけられ、安らかな御  
最期と承りましたが、なお、皆  
様のお祈りをお願い申し上げま  
す。

(9)

## 会計報告

(十月分)

| 摘要   | 收入 | 支出 | 高差引<br>元 |
|--|----|----|----------|
| 先月より継越<br>三 廿 手金<br>三 種 献寄本<br>信 新 聖體<br>備工 布通旅<br>電電ガ水給消<br>雜<br>金費箱附金会代<br>總使用品費費料<br>金の堂行事啟信<br>料費費料費費<br>部弘布話氣又道<br>印列事啟信話氣又道<br>新聖體事啟信話氣又道<br>通旅電電ガ水給消<br>雜 |    |    |          |